



城山御嶽（1969年撮影か 伊江村役場所蔵）



伊江島 展望台の子供ら（1965年撮影 伊江村教育委員会蔵）

今年には沖縄県が日本に復帰して50年となります。

復帰前から復帰後（1960年代～1980年代前半）の写真資料を中心に、本村の歩みをみていく展示会です。

なつかしい風景や出来事を見てください。

沖縄県日本復帰50周年 伊江島写真展 なつかしのあの日あの頃

入場
無料

展示期間:令和4年5月13日(金)～5月29日(日)

開催場所:伊江村農村環境改善センター 1階ロビー

お問合せ:伊江村教育委員会(文化財担当) 電話:0980-49-2334

懐かしのあの頃



西小学校へ高等弁務官訪問（1967年撮影 伊江村教育委員会所蔵）

村所有の写真や沖縄県公文書館所蔵の写真などから、復帰前から復帰後にかけての出来事や風景などを紹介します。

懐かしい風景や人々を見ることができるともかもしれません。

「復帰男」古堅宗憲氏



故古堅宗憲氏追悼記念碑（1974年撮影 伊江村役場所蔵）

沖縄県復帰以前、東京を中心に復帰運動に関わり、復帰を待たずして亡くなった一人の人物がいました。その人物、「古堅宗憲」氏は本村西江前出身で、県内外の復帰運動にたずさわった人たちからは、「復帰男」と呼ばれました。

古堅宗憲氏について、写真資料を中心に紹介していきます。

「沖縄の太陽」黒田操子さん



城山山頂の来島記念碑を見る黒田操子さん（伊江村役場所蔵）

土地闘争が起こった1950年代、「黒田操子」（現 菊川操子）さんは県外から島へ手紙や書物などを送り、島の人々を勇気づけたことから「沖縄の太陽」と呼ばれました。

当時の写真資料を交えながら、黒田操子さんについて紹介します。